

目標達成計画

作成日: 令和6年 3月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	ご家族との連携について、ご面会やLINE等の機会を利用して、リアルタイムでご意見を承れる体制を取っているが、制度の説明等について、改めて文書化や口頭による伝達の機会を作っていく必要がある。	ホーム内の業務の仕組みや制度上の説明などを行う機会を設け、ホームの行事・活動として実施していく。	4月、8月に家族会の機会を設け、ホーム内の行事参観日として一緒に参加して頂き、その際に説明を行うことで、ご意見を賜る機会を頂く。	12ヶ月
2	27	短期目標と具体的な支援内容を現場の支援と連動させる仕組みを整えつつあるが、まだ道半ばである。これをさらに継続させていく。	介護記録をデジタル化し、記録の手間をできる限り省いているとともに、この際、ケアプランの参照をしやすくする。	プランの提示方法を変更。ファイル化して介護記録作成時に参照できるようにしているが、これを継続し、周知徹底して行く。	3ヶ月
3		〃	〃	介護記録の入力の仕方について、経験をさらに積んでもらい、その上で、プラン番号を自在に入力できるようにしてもらう。	3ヶ月
4	35	BCP策定を行っているが、それに基づき、今後も継続して災害対策や感染症対策を行っていく必要がある。	BCP策定内容に基づき、近隣の事業所間で訓練の連携や、ホーム内での対策訓練を行っていく。	訓練の連携企画を立案し、年間計画として策定したり、新たに図上演習を取り入れて実施する。	3ヶ月
5		若手のキャリア形成の最終仕上げの段階にきている。ホーム内での業務展開を分配し、責任ある仕事を行ってもらう必要がある。	管理者および介護主任の業務内容を若手に分けていき、責任ある仕事を経験することで主体性のある行動ができるようにしていく。	業務スケジュール・企画立案の担当及び医療連携担当、広報やリクルート担当などをセクション化し、業務として依頼する。(実施中)	3ヶ月